

平成29年度の重点目標

○男子は、実施種目で全国平均より全て低く、女子においてもほとんどの種目で低い状況にある。
○男女ともに、体育の授業以外で運動やスポーツを行う生徒が少ない。

上記の課題を受けて具体的

○限られた運動環境下で運動部に所属し活動している生徒が少なく、運動することに興味を持っていない生徒が多い状況なので、体育の授業ではスポーツの楽しさを体験することに重点を置きながら、運動の実施時間を増加させるとともに、各自の目標を1年ごとにステップアップできるように設定して取り組ませた。
○運動部の活動を年間通して取組ませた。
○新たな愛好会を立ち上げた。

平成28年度 新体カテストの結果(全国平均値:平成28年度調査結果との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	立ち幅とび	ボール投げ						
15歳	29.4	37.87	18.2	29.53	30.4	47.36	38.2	55.43	194.0	216.59	19.6	24.22
16歳	35.9	40.45	20.1	31.56	35.0	50.32	43.6	57.29	167.7	223.93	17.9	25.66
17歳	41.2	42.44	20.9	32.88	38.1	52.08	39.1	58.92	209.8	229.85	23.9	27.00
18歳	37.8	42.32	21.1	30.38	38.8	49.14	44.4	58.00	179.7	229.15	18.8	25.81

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	立ち幅とび	ボール投げ						
15歳	25.0	25.58	16.0	22.98	34.0	46.66	32.0	47.18	185.5	169.55	12.0	13.80
16歳	27.0	26.60	16.0	24.14	37.0	48.54	38.5	47.41	127.0	171.16	7.5	14.41
17歳	31.0	27.09	15.3	24.37	42.7	49.11	42.0	47.78	172.3	170.72	11.7	14.79
18歳	28.0	26.37	22.5	22.94	38.3	46.74	42.7	47.31	174.0	168.25	14.0	13.89

□ 全国平均値
■ 全国平均値未満
■ 全国平均値以上

平成29年度 新体カテストの結果(全国平均値:平成28年度調査結果との比較)

※平成29年度の全国平均値は未公開

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	立ち幅とび	ボール投げ						
15歳	36	37.87	22.0	29.53	33.0	47.36	40.0	55.43	185.0	216.59	20.0	24.22
16歳	41	40.45	22.0	31.56	34.0	50.32	37.0	57.29	198.0	223.93	21.0	25.66
17歳	40	42.44	26.0	32.88	40.0	52.08	36.0	58.92	182.0	229.85	17.0	27.00
18歳	40	42.32	17.0	30.38	31.0	49.14	30.0	58.00	181.0	229.15	27.0	25.81

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	立ち幅とび	ボール投げ						
15歳	26.0	25.58	15.0	22.98	33.0	46.66	33.0	47.18	133.0	169.55	8.0	13.80
16歳	28.0	26.60	19.0	24.14	34.0	48.54	41.0	47.41	167.0	171.16	13.0	14.41
17歳	29.0	27.09	8.0	24.37	41.0	49.11	32.0	47.78	120.0	170.72	11.0	14.79
18歳	31.0	26.37	12.0	22.94	38.0	46.74	33.0	47.31	144.0	168.25	12.0	13.89

重点課題

○1学年での各自の記録をもとにステップアップできるように目標を立てて取組ませているが、女子の握力が平均値を上回っている以外、記録が低迷している。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

○生徒一人一人が新体カテストの記録をもとにスモールステップの目標を設定し授業や部活動に取組ませる。
○体育の授業において、運動継続の意義やトレーニング方法や内容等を理解するとともに、健康・安全に注意し自分に適した体力向上策を工夫しながら取組ませる。
○体育の授業では、まずストレッチ体操を行い、学習環境や器具等の十分でない環境の中授業展開の方法を工夫しながら、主体的に体力向上を図ることができる態度を養う。

平成30年度の目標値

○男子の「立ち幅とび・ボール投げ」の記録を全体的に上げる。
○男女ともに全国平均値から10ポイント以上低い種目を減少させる。